

農場長より

創刊号では、本校農場の面積・予算規模等を紹介しました。第2号では、各部門の生産の中間報告をしたいと思います。

作物部門（米、白米、そば粉、サツマイモ）

予算を大きく上回る430万円。

野菜部門（ダイコン、ハクサイなど）

予算を遙かに上回り40万円。1袋100円で販売すると4,000袋を販売したことになります。

草花部門（シクラメン、キク）

1棟の温室をフル回転して92万円を売り、卒業式まであと20万円の売り上げをめざしています。

畜産部門

予算に対してこれまで約30%の生産です。今後正月過ぎに4頭の出荷を見込んでいます。しかし、アメリカ産牛肉の輸入再開などの不安要素があり、耶麻高の農場予算の半分以上（650万円）を担っています。畜産業界の動向に目が離せません。

これらを総合して耶麻高農場部は、1,156万円の生産を上げる予定です。

作物部門

おかげさまで収穫の秋を迎え、作付けした3種類の作物の生産を上げることが出来ました。それぞれについて説明したいと思います。

・「水稻」～「ひとめぼれ」については若干カメムシの被害を受けましたが、「コシヒカリ」については、大変品質がよく、精米して販売したところ大変よい評判を頂き喜んでいただいております。

・「ソバ」～例年通りのよい出来でした。

・「サツマイモ」～昨年に比べ豊作でありました。

プロジェクトについては、2・3年の作物専攻生が、校内発表会に向けただいまデータを集計中です。

千咲農場のそば畑



畜産部門

9月に子牛が2頭（メス）生まれ、現在、すくすくと成長しています。

また、11月末には九州産（鹿児島県）の肥育素牛5頭を導入しました。



お母さんと一緒

九州から来ました



この牛を教材にして、新2年生のプロジェクト学習を進めたいと考えています。

プロジェクト学習では、「耶麻農牛のブランド化をめざして」をテーマに、夏休みに行われた県農業クラブ研究発表大会で発表してきました。

野菜部門

・現在栽培している野菜は、ハウス内で春菊・ホウレンソウ・小松菜・水菜です。春菊は収穫最盛期であります。他の野菜は1月中旬頃が収穫最盛期と思われます。

・生徒はプロジェクト学習のまとめの時期になっています。計画通りに実施できなく、予定とは異なってしまいましたが、昨年の経験を基に各自頑張っており取り組んでいます。1月26日の発表会には、各学年1題の代表者を選び、出場したいと思います。

草花部門

シクラメンを研究題材に過去何年もの間研究に取り組んできました。

今年の夏は、例年に増して大変暑く、遮光条件下で

40度を振り切る日が3週間以上も続くなど、シクラメンにとってつらい夏でした。それにもかかわらず今年も綺麗なシクラメンが咲きました。

ところで皆さんはシクラメンの種子は、どこから来ていると思いますか？

・・・答え・・・南米チリ（学校のタネは）。

1粒の値段は、22円です。今年のシクラメンは昨年9月30日に播種しました。暗黒下で20日、約1ヶ月で発芽に至ります。そのうち商品化できるものは約50%です。

種子をまいて2ヵ月後



シクラメン
花言葉
『はにかみ』

花満開



・・・値段に納得!!

